

# 高压受電設備規程

需要設備専門部会編 日本電気技術規格委員会承認

発行：一般社団法人日本電気協会 A5判 512頁 定価4,950円(本体：4,500円)送料600円

本書は、高压で受電する自家用電気工作物の電気保安の確保に資することを目的に平成14年に制定され、高压受電設備の設計、施工、維持、検査の規範として、関係各界において広く活用されています。

この程、令和2年11月に開催された日本電気技術規格委員会において改定案が承認されたことに伴い、新たに第4版が令和3年2月に発行されます。

## JEAC 8011-2020の主な改定の概要

1. 受電設備の設計・施工に関する規定の改定
  - ① 「第0030節 用語【規定】」で規定されている一部の用語に対応した「構内電線路及び構内引込線関係例図」を新たに追加した。【0030-1条】
  - ② 高压絶縁電線及び高压ケーブルによる高压架空引込線の高さ及び離隔距離について、1120-1表及び1120-2表に対応した図を新たに追加した。【1120-2条】
  - ③ キュービクル式高压受電設備の構造や設置に関する規定事項（風雨・風雪の浸入や浸水対策、保安上有効な距離、基礎の高さ等）について、より実状に沿った内容へ見直した。【1130-3条、1130-4条】
  - ④ 「第1140節 結線図及び配置図【規定】」に掲載されている結線図例を見直した。（JIS図記号との整合、コンデンサ及びリアクタンス等の定格容量、高压予備発電装置連系時のUVR取付位置等）【1140-1条、1140-2条】
  - ⑤ 新たに「1130-6 高压屋側電線路などの施設」を新設した。それに伴い、規程内の構成を一部見直した。【1120-2条、(旧)1120-4条、(新)1130-6条】
  - ⑥ 進相コンデンサの素子種別（NH型及びSH型）の違いによる保護方法について、規定、解説を新たに追記した。さらに、素子種別の特性等の詳細事項について、資料を新たに新設し、掲載した。【1150-9条、2120-4条、(新)資料1-1-8】
2. 系統連系規程・高調波抑制対策技術指針の改定に対応した改定
  - ① JEAC 9702 (2018) 「高調波抑制対策技術指針」の改正内容を反映し、高調波抑制対策に関する規定、解説、資料の構成を見直した。遵守すべき基本的事項や考え方については要点を絞って規定と解説に掲載し、専門的な知識としてもっておくべき詳細事項については、資料編を新たに新設し掲載した。【(新)第3110節～(新)第3130節、(新)資料3-1-1～(新)資料3-1-3】（※「(新)」は構成の見直しによるもの。）
  - ② 「電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン」（経済産業省）（2019）の改正及びJEAC 9701 (2019) 「系統連系規程」の改定内容を反映した。【第3210節】

※高压受電設備規程には、北陸電力送配電株式会社供給区域内の別冊付録が付きます。

注文書

日本電気協会 北陸支部 行 (TEL 076-442-1733 〒930-0858 富山市牛島町13番15号 百川ビル5階)  
**FAX 076-442-1740**

※高压受電設備規程には、北陸電力送配電株式会社供給区域内の別冊付録が付きます。

ご注文部数	高压受電設備規程 (JEAC8011-2020)	部
貴社(団体)名・部署		
ご送付先住所	〒	
ご担当者名		
ご連絡先	TEL	E-mail 外以
連絡欄		

本会発行図書のご案内をダイレクトメールやEメールでお送りさせていただく場合がございます。

ご不要な場合は☐を付けてください。⇒

> 代金は、本と同封で請求書・振込用紙を送付いたしますので、到着後お振込みください。

なお、ご注文の内容等により、代金の前払いをお願いする場合がございます。またご注文後のキャンセルはお受けできません。

> 送料 全国一律 1カ所 600円 (税込)